



MS-03 SIGNAL PROCESSOR

ギター、ベース、ボーカルを完全にシンセサイズ。

エレキギター、ベースなどの音声信号を、シンセサイザーのコントロール信号に分解する、音声信号分解器です。MS-03とMS-10、20、50などのシンセサイザーに、あなたのギターやマイクを接続すれば、たちまちギターシンセ、ボーカルシンセなどに早変わりします。あなたの楽器をキズつけることなく、完全なシンセサイザー化ができるだけでなく、フットスイッチによって、音程のホールドやボルタメントなどの、ライブには欠かせない数々の効果が得られます。

仕様 ●インストールメントイン：レベルコントロール、ピッチレベリングシフター、レンジ(ハイロー)、モード(1-2/3)、シングルインプット ●ボルタメント：タイムコントロール、リモートスイッチ入力 ●プロセッサ出力部：リフレーション、ワイス、トリガーインジケター、CVアウト(Hz・0.01V)、トリガーアウト(1.5V、1.5V)、エンベロープアウト、ダイレクタアウト、CVホールドリモート入力、CV A トリガーホールドリモート入力、キャンセルリモート入力 ●その他：電源スイッチ、パイロットランプ ●外形寸法：283(W)×110(H)×195(D)mm ●重量：2.4kg ●付属品：フットスイッチ(S)×1 ●電源：100V、50/60Hz ●消費電力：14W



MS-02 INTERFACE

これ1台で世界中のシンセサイザーと接続OK。

コルグMSシリーズの各機種を、世界中のあらゆるシンセサイザーと接続して、あなたのシステムをグレードアップするための信号変換器です。現在、シンセサイザーをコントロールするトリガー信号と、キーボードCV信号には、それぞれ2つの方式があります。MS-02は、このように異なる方式の各制御信号を変換し、それぞれに適した形にするためのトリガープロセッサ、ログ、アンチログアンプ、などで構成され、各メーカー間に完全な互換性を持たせることができます。

仕様 ●ログアンプ：チューニング、ワイス、Hz/V入力(0~+15V)、OCT/V出力(-12~+12V) ●アンチログアンプ：チューニング、ワイス、OCT/V入力(-4~+4V)、Hz/V出力(0~+12V) ●アプリアンプ：チャンネル1レベルコントロール、チャンネル2レベルコントロール、インプットチャンネル1、インプットチャンネル2、アウトプットチャンネル1、アウトプットチャンネル2 ●トリガープロセッサ×2：トリガーインジケター、リバススイッチ、インプット、アウトプット ●その他：電源スイッチ、パイロットランプ ●ジャンクション：4×2列、3×1列 ●外形寸法：283(W)×110(H)×195(D)mm ●重量：2.2kg ●電源：100V、50/60Hz ●消費電力：5W

MS-01 FOOT CONTROLLER

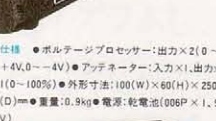
ライブのためのユニバーサルフットコントローラー。

シンセサイザーの各モジュールを、リモートコントロールするための、制御電圧を出力するボルテージプロセッサと、ピッチの深さや音量などをコントロールするアッテネーターが装備された、ライブ演奏に欠かせないフットコントローラーです。

MS-04 MODULATION PEDAL

LFO、S/Hなどの変調機能をフル装備。

ビブラート、ランダム、グリッサンドなどの変調を足許でコントロールするためのフットペダルです。VCO、VCFを同時に変調できる2つの出力は、それぞれ異なる変調信号を出力することもできます。ライブステージで数多くのキーボードを使用するマルチキーボードにとって必要不可欠のモジュレーションコントローラーです。



仕様 ●ボルテージプロセッサ：出力×2(0~+4V、0~-4V) ●アッテネーター：入力×1、出力×1(0~100%) ●外形寸法：100(W)×60(H)×250(D)mm ●重量：0.9kg ●電源：乾電池(600P×1、9V)



仕様 ●LFO：波形(A、□、RANDOM、GLISS ANDO)、スピード、レベル ●BEND：ワイス ●出力×2：アウトプット1(×1)、モード切替(LFO/LFO+BEND/BEND)、アウトプット2(×4)、モード切替(LFO/LFO+BEND/BEND)、出力切替(1/1+1/2) ●外形寸法：100(W)×60(H)×250(D)mm ●重量：0.9kg ●電源：乾電池(600P×2、9V)

- ①マイクとシミュレーターの入力信号のレベルをチェックするメーター。
- ②マイクレベルコントロール。
- ③メーターでチェックする信号の切換えスイッチ。
- ④本体の鍵盤信号の代わりに、外部信号(エレキギターなど)を入力する場合のレベルコントロール。
- ⑤鍵盤信号を1オクターブ切換えするスイッチ。
- ⑥特に半音をはききさせるために、鍵盤信号にノイズ信号を混ぜるバランスコントロール。右一杯に回ると、ささやきも表現できます。

- ⑦ビブラートの深さをコントロール。
- ⑧マイク信号のアサントによる、ピッチベンドの深さをコントロール。
- ⑨ビブラートのスピードをコントロール。
- ⑩コーラス効果が得られるアンサンブルスイッチ。
- ⑪外部電圧(MS-01など)による、ピッチベンドの深さをコントロール。
- ⑫鍵盤信号の音程を手許で変化させるコントロール。
- ⑬MC-01専用のBTSコネクタ。
- ⑭Pホーンジャックマイク入力。
- ⑮シミュレート音とダイレクと音のバランス調整。
- ⑯本体の鍵盤信号とノイズ信号の代わりに、外部信号(エレキギターなど)を使用する場合の入力ジャック。
- ⑰外部電圧(MS-01など)で、鍵盤信号のピッチをリモートコントロールするための入力ジャック。

VC-10 VOCODER



コルグ技術陣が、あなたの声が合唱に、男声ボーカルが女性ボーカルに……変幻自在のコーラスキーボード。

仕様 (コントロールセクション) ●鍵盤：32鍵 F# ●オクターブ切換(ノーマル=16、アップ=8) ●ピッチボリューム(±100セント)、アクセント、ベンド、ビブラート、スピード、ビブラート、デプス、外部変調感度調整、ピッチコントロール、ホイール(±1/2オクターブ) ●シングルミキサー：入力信号バランス(キーボード/ノイズ)、外部信号レベル ●フリクションレスボイスシミュレーター ●マイクレベル ●メーター：VUメーター、メーターセレクトスイッチ(ミキサー/マイク) ●ファイナルコントロール：アンサンブル、電源スイッチ/ファイナルボリューム、出力バランス(シミュレーター/マイク)、ヘッドホンレベル(インプット) ●マイクインプット：BTSコネクタ入力、2Pホーン入力 ●外部入力：信号入力(3Vp、pA X)、ピッチコントロール入力(5000V、-3~+3V)(アウトプット) ●ファイナル：出力 ●ヘッドホン：出力 ●外形寸法：499(W)×249(H)×309(D)mm ●重量：7kg ●付属品：接続コード×1 ●電源：100V、50/60Hz ●消費電力：20W ●オプション：コルグ・マイクホンMC-01

ボコーダーは、本来、音声を分解し再生する装置のことで、音声合成学などの学術用機器として開発されたものです。この装置は、「アー」という音声で、「イー」という音声に変換することはできても、操作が非常にむずかしい、楽器として扱える代物ではありませんでした。1978年4月、VC-10は、世界に先駆け、ライブステージで使用できる「楽器」という、まったく新しい考え方に基づいて設計され、発表されたボコーダーです。シンセサイザーのように、複雑な操作は必要とせず、誰にでも手軽に操作できるVC-10は、「ド・ミ・ソ」などのコードで演奏しながら、マイクに向かって言葉を話すだけで、たった一人でコーラスができる和音コーラスキーボードなのです。さらに、マイクからの生の声とVC-10でシミュレート(再合成)された音をミックスしたり、シミュレート音にビブラートをかけたり、オクターブ切換えによって、男性の声や女性コーラス風に変えることができるなど、VC-10ならではの機能を数多く備えています。また、VC-10の変わった使い方として、本体の鍵盤の代わりに、エレキギターやシンセサイザーなどの楽器や、テーブルコーダーに録音された虫や動物の鳴き声に言葉を喋らせるなど、いろいろとユニークな使い方もできる最も新しい楽器です。



▲オプション：コルグ・マイクロホン MC-01¥18,000
マイクロホンは、ボコーダーの音質の良否を決める最大のポイントです。MC-01は、音声だけをクリアにとらえるように設計された超単一指向性の専用マイクです。音質はダイナミックタイプのため、歯切れ良く、耐久性にも優れております。市販の接話型マイク(例：SHURE・SM-10など)もお推しできます。